

<産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低公害車の導入状況>

1. 低排出ガス車の導入状況（2020年06月01日現在）

運搬車の排ガスレベル	台数(割合)	
全保有台数	14	100%
①平成12年基準低排出ガス車 良☆		
②平成12年基準低排出ガス車 優☆☆	1	7.14%
③平成12年基準低排出ガス車 超☆☆☆		
④平成12年基準超低PM 排出ディーゼル車 ☆☆☆	1	7.14%
⑤平成12年基準超低PM 排出ディーゼル車 ☆☆☆☆	4	28.57%
⑥平成17年規制適合車		
⑦平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆	1	7.14%
⑧平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆☆	1	7.14%
⑨平成17年基準低排出ガス重量車 ☆	1	7.14%
⑩平成17年基準低排出ガス重量車 ★	1	7.14%
⑪平成22年規制適合車	4	28.57%

※パーセントは小数点以下第二位以下を切り捨てて計算しています。

【低排出ガス車の導入目標】

2024年09月末までに、①+②+③+④+⑤の占める割合を全体の30%未満とする。
現段階で、42.8%です。

2. 低燃費車の導入状況（2020年06月01日現在）

運搬車の低燃費レベル	台数(割合)		
全保有台数	14	100%	
平成17年度燃費基準達成車	① -	5	35.71%(63.63%)
	② 10%低減レベル		
平成22年度燃費基準達成車	③ -		
	④ 5%低減レベル		
	⑤ 10%低減レベル		
	⑥ 15%低減レベル	1	7.14%(9.09%)
平成27年度燃費基準達成車	⑦ 25%低減レベル		
	⑧	8	57.14%(27.27%)

※パーセントは小数点以下第二位以下を切り捨てて計算しています。

【低燃費車の導入目標】

2024年9月末までに、⑧の占める割合を全体の60%以上とする。
現段階で、約57.14%です。()内は2019年10月の数字です。

<運搬車両>

2020年06月01日現在

自動車の種別	積載量	積載可能寸法 全長×幅×高さ(mm)	保有台数
4tコンテナ車	3900kg	3600 × 1900 × 1200 ※3	1
4tユニック車	2400kg	5500 × 2140 × 2500 ※2	1
3tユニック車	3000kg	3500 × 1920 × 2250 ※2	1
3tユニック車	3000kg	3690 × 1970 × 2180 ※2	1
3tユニック・ゲート車	3000kg	4250 × 1990 × 2220 ※2	1
2tユニック車	2000kg	3600 × 1780 × 2350 ※2	1
3tゲート車	3000kg	4320 × 1800 × 2280 ※2	1
3tゲート車	2950kg	4350 × 1900 × 2230 ※2	1
2tゲート車	2000kg	3090 × 1630 × 2400 ※2	4
バン	1250kg(1050kg)※1	1760 × 1200 × 1000 ※4	1
バン	400kg(250kg)※1	1570 × 1180 × 860 ※4	1
			14

※1、()は乗車定員による

※2、高さは3200mmから荷台までの高さを引いて算出したものです。

※3、コンテナ車は標準的な8m³のもので計算しています。

※4、荷台を空の状態に計算しています。

<積替保管施設>

2020年06月01日現在

所在地	面積	積替え保管を行う 産業廃棄物の種類	保管上限※1	備考(設備の概要等)
東京都品川区 南品川3-6-31	338.3 m ²	廃油・汚泥	3.77m ³	【設備】 天井クレーン1基 1.5tフォークリフト1台 スケール×4基 散水設備:1式
		汚泥・金属くず(廃乾電池) ※水銀使用製品産業廃棄物を除く	0.48m ³	
		汚泥・金属くず(廃乾電池) ※水銀使用製品産業廃棄物に限る	0.04m ³	
		廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガ ラス・コンクリート・陶磁器くず、が れき類	28.8m ³	【周辺対策】 シャッターにより外部 と隔離し、廃棄物の飛 散防止を行う。
		廃プラスチック類、金属くず (廃バッテリーに限る)	1.45m ³	
		廃プラスチック類、金属くず、ガラ ス・コンクリート・陶磁器くず (水銀使用製品産業廃棄物に限る)	5.47m ³	
		廃プラスチック類、ガラス・コンク リート・陶磁器くず、がれき類 (いずれも石綿含有産業廃棄物に限る)	8.04m ³	